

日本板鰓類研究会・長崎大学共催

「板鰓類シンポジウム 2018 in 長崎」開催のお知らせ

今回のシンポジウムでは日本や海外の大学、研究所、水族館などから研究者が集結し、サメ・エイ類に関する最新の研究成果や話題（合計 36 題）を披露します。

どなたでもご参加いただけます。皆さまのご参加をお待ちしております！

開催日時：2018 年 12 月 23 日（日）9:15～17:20

開催場所：長崎大学・文教スカイホール（グローバル教育・学生支援棟 4F）
長崎市文教町 1-14

プログラム：別添のプログラムをご参照ください。

参加費：1000 円（日本板鰓類研究会会員および長崎大学学生は無料）

参加申し込みおよび問い合わせ先： 長崎大学 水産・環境科学総合研究科 山口敦子
メール y-atsuko@nagasaki-u.ac.jp
TEL 095-819-2822、FAX 095-819-2799

申し込み方法：上記宛てにメール or FAX にて以下をお知らせください。

①お名前・所属・連絡先 ②懇親会への参加の有無 ③昼食のお弁当の有無（有料）

締め切り：懇親会および昼食の申し込みの締め切りは 12 月 17 日（月）。シンポジウムにつきましては当日参加も可能ですが、できる限り登録をお願いします。



板鰐類シンポジウム 2018 in 長崎

2018年12月23日(日) 9:15~17:20

開催場所：長崎大学 文教スカイホール (〒852-8521 長崎市文教町1-14 グローバル教育・学生支援棟4F)

参加費：1000円(要旨集代。日本板鰐類研究会会員および長崎大学の学生は無料、懇親会費は別途4500円を予定)

シンポジウム企画責任者：山口敦子(長崎大学)、後藤友明(岩手大学)、古満啓介(長崎大学)

参加申し込みおよび問い合わせ先：長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科 山口敦子

TEL：095-819-2822、FAX：095-819-2799、メール：y-atsuko@nagasaki-u.ac.jp

事前登録のお願い：メールor FAXにて①シンポジウム、②懇親会への参加の有無、および③昼食のお弁当の用意(有料)を12月17日(月)までにお知らせください。シンポジウムにつきましては、当日参加も可能です。

●プログラム●

9:15 開会挨拶(日本板鰐類研究会会長・田中彰)

口頭発表 午前の部その1(座長：後藤友明)

9:20~9:35

1. 日本近海からナヌカザメ属の新種を確認

○仲谷一宏(北大)・井上晋介(アキレス)・Lei Yang(フロリダ大学)・Gavin J. P. Naylor(フロリダ大学)

9:35~9:55

2. 千葉県館山沖で捕獲されたメガマウスザメについて

○齋藤純康, 大澤章久(鴨川シーワールド)・仲谷一宏(北大), 吉田秀男((株)吉田生物研究所), 荒井一利(国際海洋生物研究所)

9:55~10:15

3. Some aspects of distribution of megamouth shark

○Chi-Ju Yu, Shoou-Jeng Joung, Kwang-Ming Liu (National Taiwan Ocean University, Taiwan)・Hua-Hsun Hsu (King Fahd University of Petroleum and Minerals, Saudi Arabia)・Chia-Yen Lin (National Taiwan Ocean University, Taiwan)・Atsuko Yamaguchi (Nagasaki University)

10:15~10:30

4. 農林統計を用いた日本のサメ種別漁獲量の推定

○矢野寿和(水産大学校)

休憩 10分

口頭発表 午前の部その2(座長：佐藤圭一)

10:40~11:00

5. エイはマングローブをどう使うか?

○菅野詩織 (James Cook University), Michelle R. Heupel (Australian Institute of Marine Science), Colin A. Simpfendorfer (James Cook University)

11:00~11:20

6. 日本海におけるガンギエイの成長, 成熟, および食性

○原康二郎・古満啓介(長大院水環)・上原伸二(水産機構中央水研)・八木佑太(水産機構日水研)・山口敦子(長大院水環)

11:20~11:35

7. 斐伊川水系汽水域におけるアカエイの食性と分布

○鈴木渚斗・山口啓子(島根大学大学院自然科学研究科)

11:35~11:55

8. 板鰐類の繁殖および成育場としての干潟・河口・浅海域の機能

○山口敦子・古満啓介(長崎大学)

昼休み

ライトニングトークの部 その1(座長：古満啓介)

13:00~13:15

L1 単独飼育していたトラフザメ *Stegostoma fasciatum* の産卵およびその後の胚発生について

○百田和幸・宮川訓(NIFREL)

L2 高知県土佐清水市沖のサメによる漁業被害について

○渡邊真緒・山本順(高知県土佐清水漁指)・古満啓介・山口敦子(長大院水環)

L3 板鰐類が毒を持つトラフグの捕食者となっている可能性はあるのか?

○山口敦子(長大院水環)

口頭発表 午後の部その1(座長：堀江琢)

13:20~13:35

9. ネズミザメ類の人工子宮作成を目指した繁殖学的研究

○佐藤圭一、富田武照、野津了(沖縄美ら島財団総合研究センター、沖縄美ら海水族館)・中村将(沖縄美ら島財団総合研究センター)

13:35~13:50

10. オスがいない飼育下で単為発生したナースハウンド

○徳永幸太郎(アクアワールド茨城県大洗水族館)・柳本卓(水産機構中央水産研究所)

13:50~14:05

11. ヨシキリザメ長期飼育の試み

○萬倫一(横浜・八景島シーパラダイス)

14:05~14:25

12. 広塩性オオメジロザメの研究：飼育実験とフィールド調査から

○兵藤晋(東大大海研)・工樂樹洋(理研)・立原一憲(琉大理)・佐藤圭一(沖縄美ら島財団)

休憩 5分

ポスター発表 14:30~15:30

- P1 周防灘におけるナルトビエイの調査状況**
○和西昭仁 (山口水研セ)・野副 滉 (福岡水海技セ)・白樫 真 (大分水研)・斎藤克弥 (JAFIG)
- P2 プラスティネーションを利用した全身骨格標本作成の試み**
○宇井賢二郎 (マリホ水族館)
- P3 板鰐類の視覚を司る遺伝子と生息環境の関係を探る**
○山口和晃 (理化学研究所)・小柳光正 (大阪市立大学大学院)・原雄一郎 (理化学研究所)・寺北明久 (大阪市立大学大学院)・工樂樹洋 (理化学研究所)
- P4 トラザメ *Scyliorhinus torazame* 1 個体における異常産卵と正常産卵への移行**
○石橋将行・荻本啓介・久志本鉄平 (下関市立しものせき水族館)
- P5 Assessment of the data limited silky shark population in the Indian Ocean using a two-sex stochastic demographic framework**
Wen-Pei Tsai, ○Yen-Jun Wang (National Kaohsiung University of Science and Technology, Taiwan) and Atsuko Yamaguchi (Nagasaki University)
- P6 2018 年に駿河湾の定置網で採集した板鰐類について**
○堀江 琢・谷口輝生・吉田陸登・織田峻兵 (東海大海洋)
- P7 日本産トラザメ属魚類の分類学的・系統学的研究**
○伊藤菜波 (東海大学大学院)・藤井美帆 (下田海中水族館)・野原健司・田中彰 (東海大海洋)
- P8 駿河湾深海域におけるベイトカメラ調査の条件検討と上位捕食者の個体数密度推定**
○佐藤 匠 (東京海洋大学大学院)・土田真二・河戸 勝 (海洋研究開発機構)・小磯桃子 (東邦大学大学院)・結城仁夫 (日本放送協会)・岩崎弘倫 (NHK エンタープライズ)・藤倉克則・藤原義弘 (海洋研究開発機構)
- P9 オオメジロザメの環境適応における腎臓の役割とそのメカニズム**
○尾崎聡・今関到・兵藤晋 (東大大海研)・原雄一郎・工樂樹洋 (理研)・鈴木雅一 (静大院理)・松本瑠偉・村雲清美・植田啓一・佐藤圭一 (沖縄美ら海水族館)
- P10 環境 DNA によるオオメジロザメの浦内川生息状況調査**
○柏原知実・黄國成・今関到・兵藤晋 (東大大海研)・佐藤圭一 (沖縄美ら島財団)・立原一憲 (琉大理)
- P11 胃内容物解析および安定同位体分析を用いた北西太平洋におけるヨシキリザメの食性に関する研究**
○藤波裕樹 (水産機構国際水産資源研究所)・中東明佳 (田中三次郎商店)・大下誠二 (水産機構西海区水産研究所)
- P12 板鰐類に寄生する吸葉条虫目の分類学の状況と日本産吸葉条虫目録(1917-2000)**
○倉島 陽・小川和夫 (公益財団法人 目黒寄生虫館)
- P13 小笠原諸島におけるシロワニの写真識別カタログ**
○杉山明日香 (マリンワールド海の中道)・神奈川県立生命の星・地球博物館 (神奈川県立生命の星・地球博物館)・シロワニ繁殖協議会 (マリンワールド海の中道、アクアワールド茨城県大洗水族館、京急油壺マリパーク、東海大学海洋科学博物館、横浜八景島シーパラダイス、しながわ水族館)
- P14 標識再捕実験からみた八重山諸島黒島沿岸域におけるレモンザメの成長速度と行動範囲**
○山本 苺 (東京海洋大学)・亀田和成 (日本ウミガメ協議会付属黒島研究所)・鈴木直樹 (東京海洋大学)

休憩 5分

ライトニングトークの部 その2 (座長: 山口敦子)

- 15:35~15:50 L4 ミツクリザメとメガマウスザメの骨格標本作製**
○大澤章久 (鴨川シーワールド)・吉田秀男 ((株) 吉田生物研究所)
- L5 サメ教育イベント「シャークにアタック!」の報告**
○松本茜 (東京コミュニケーションアート専門学校)・沼口麻子 (ポアエージェンシー)
- L6 高知県室戸と八重山諸島黒島で確認されたサメ・エイ類**
田中優衣 (むろと廃校水族館)・○亀田和成 (日本ウミガメ協議会付属黒島研)・若月元樹 (むろと廃校水族館)

休憩 5分

口頭発表 午後の部その2 (座長: 兵藤晋)

- 15:55~16:10 13. 海遊館のサメ類における鰓孔の機能**
○喜屋武樹 (海遊館)・西田清徳 (海遊館)・仲谷一宏 (北大)
- 16:10~16:25 14. シロワニ繁殖協議会の活動について**
○中村雅之 (マリンワールド海の中道)・長澤貴宏 (九州大学大学院農学研究院)・シロワニ繁殖協議会 (マリンワールド海の中道、アクアワールド茨城県大洗水族館、京急油壺マリパーク、東海大学海洋科学博物館、横浜八景島シーパラダイス、しながわ水族館)
- 16:25~16:45 15. 西部北太平洋産ガンギエイ目魚類 3 種の集団構造**
○三澤遼 (京大院農)
- 16:45~17:05 16. ゲノム情報が切り拓く分子レベルのサメ研究の現状と展望**
○工樂樹洋 (理化学研究所)
- 17:05~17:20 まとめ (田中彰・中野秀樹)**
- 19:00~ 懇親会**

